



うれしい報告をする3人。左から秋山さん、元木さん、伊藤さん。



夢 全道中学生空手選手権大会女子団体組手の全国大会へ

6月21日、浦幌空手道連盟(馬場幸弘会長)所属の浦幌中学校3年生秋山かやさん、元木愛美さん、2年生の伊藤文香さんが町長室を訪れ、6月18日の全道中学生空手道選手権大会女子団体組手の部で準優勝し、8月に京都市で行われる全国大会に出場することを報告しました。全国大会出場は十勝の中学校では初の快挙です。八木町長は「のびのびと挑戦しているんな事を学ん

できてください」と激励。3人を代表して元木さんが「がんばれたのは支えてきてくれた皆さんのおかげ。自分たちの力がどこまで通用するか試してみたい」と抱負を述べました。また、馬場会長は「他の子どもたちの励みになる。全国との差を縮めていきたい」と展望を語りました。団体組手は3人1チームで対戦、各々1分半の真剣勝負です。練習量を増やし夢の舞台に備えます。

地 厚内地区防災避難・通信訓練 地震の時には迅速な避難を

6月28日、厚内地区において、防災避難・通信訓練が行われました。十勝沖での地震の発生を想定し、津波、火災などの災害に対処するため、迅速な伝達、避難誘導などを実施して、防災意識を高めることを目的としています。警察や消防などが出動し避難誘導したほか、赤十字奉仕団いちげの会がアルファ米(非常食)の炊き出しをし、みんなで試食しました。



白ごはんと五目ごはんが半分ずつのアルファ米。

各グループで浦幌の良さをまとめました。



浦 NPO法人「日本のうらほろ」設立発起人会 浦幌の魅力を発信しよう

6月15日、NPO法人「日本のうらほろ」設立発起人会(近江正隆代表)は、中央公民館で「浦幌の魅力を考える会」を開催しました。47名が参加してグループに分かれ、地域の特性や可能性を語り合い、「何もないようで何でもある町。全国に浦幌の魅力を発信しよう」と積極的な意見を交換しました。町おこしに熱い議論が飛び交いました。

和の心で、学ぶ

7月8日、第1回和のもの体験学習会(町空手道連盟・町空手道スポーツ少年団主催)が表千家乙女会の協力を得て浦幌神社社務所で開催され、30名の親子が参加しました。武道を志す子ども達が日本人としての「感性」と「心の豊かさ」を育むため企画されたもの。子ども達は緊張しながらも和菓子、抹茶を出されるとお辞儀をし、「お茶」を楽しみました。



皆が空手を無事にできますように。掛け軸は「無事」。

北町から光南までみんなでゴミを拾いました。



浦幌中学校クリーン作戦！ ゴミのない町にしよう

6月7日、浦幌中学校(斉藤博校長、生徒数138名)では町内クリーン活動を行いました。生徒会が中心となり、自分たちの町をきれいにしようとするものです。例年に比べて分別しながらの作業で大変でしたが、きれいにするという充実感もあり一生懸命取り組みました。生徒会では、これからも多くの人に役立つ活動をしていきたいということです。



「安いよ安いよ！」と威勢のいい掛け声。

笑顔がいっぱい

7月8日、浦幌幼稚園の運動会が開催されました。お遊戯やかっこ、色々な職業の人に変装してゴールする趣向をこらした競技など、子どもたちも父母たちも元気いっぱい楽しんでいました。



母の心遣いを感じてもらえれば…

更生保護女性会の窓スッキリ

6月12日に浦幌町更生保護女性会(森ひろ子会長)が駅の窓ガラスなどの清掃を行いました。平成16年から青少年の不良化防止活動などの一環として、高校生が通学に利用する駅の清掃作業をしています。

気さくに質問に応じる林さん。



ちょっとした工夫から子育てを…

6月21日、家庭教育講演会が中央公民館で行われました。講師は昨年に引き続きファミリーライフエドゥケーターの林真未さん。双方向のコミュニケーションを取り入れたいと参加者からの質疑応答形式をとり、林さんの経験を交えながら、子育ての楽しさ、夫婦のあり方、子どもの犯罪に対してなど、日頃感じている身近なことが話し合われました。